

# チャレンジ問題 一月（睦月）

読むこと（場面の移り変わりを読む）

六年生の山田さんの学級では、『一休さん<sup>いっさくさん</sup>とんち話<sup>＊1</sup>』という本を読んで、紙しばいを作り、一年生に読み聞かせをすることにしました。そこで、山田さんのグループでは、その本の中から次の『びょうぶ<sup>＊2</sup>のとらのお話』を選び、場面の様子を【四枚の絵】に分けてかきました。あとの問いに答えましょう。

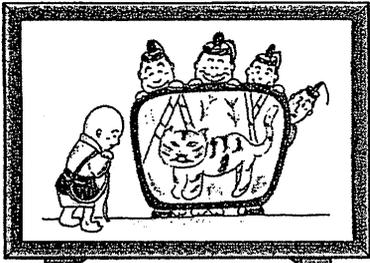
## 【四枚の絵】

### 【びょうぶのとらのお話】

の中の1から5までは、まとまりを表しています。



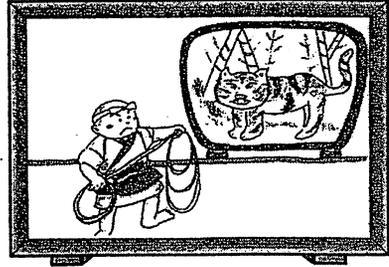
〈絵1〉



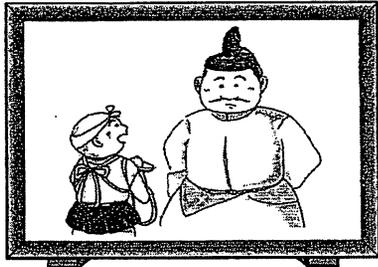
〈絵2〉

- 一休さんと、とのさまの話です。
- とのさまは、とんちで有名な一休さんを少し困らせてみようと思い、一休さんをおやしきに呼びました。そして、
- 「これこれ一休。たのみたいことがあるが、聞いてはくれぬか。」
- 「はい、なんでしょう。」
- とのさまは、おそろしいとらの絵がかいてある、びょうぶを指さして、
- 「実は、このとらじゃ。毎晩飛び出しては、やしきの中を暴れ回るのだ。一休、このとらを暴れぬように、しばりあげてはくれぬか。」
- と言いました。
- 1 一休さんは、それを聞くと、
- 「かしこまりました。」
- と言って、さっと立ち上がりました。そして、
- 「では、とらをしぼりあげるためのなわを貸してください。」
- と言いました。とのさまは、家来に言いつけてなわを持って来させました。一休さんは、なわを受け取り、広間のすみに下がりました。
- 「では、これから、とらをしぼりあげます。とのさまや、家来の方々は、びょうぶの裏に回ってください。とらが飛びかかるといけませんから……。」
- 2 とのさまと家来は、言われるとおりにしました。一休さんが、何を始めるのかと思いましたが、とりあえずびょうぶの裏に行きました。そして、にやにや笑いながら、様子を見ていました。
- 3 一休さんは、はちまきをしめ、たすきをかけて身じたくを整え、いよ

〈絵3〉



〈絵4〉



いよなわを手に持ち、びょうぶの前に進み出ました。それから、足をふんばり、びょうぶの前で構えて言いました。

「やい、とらめ。とのさまの言いつけでお前をしばりあげるぞ。さあ、出て来い。勝負だ。」

4 一休さんは、大まじめです。とらは、もちろん出て来ません。

「さては、おそれをなしたか。とらめ、出て来ないな。」

そう言ってから、

「びょうぶの裏の家来の方々、そこで大声をあげて、とらを追い出してください。

出て来ないと思はれませんかね。」

5 それを聞いた家来たちは困りました。とのさまはおこり顔で、

「何を言うか、一休。絵のとらが、追い出せると思うか。」

と言いました。

「それはおかしい。先ほどのとのさまは、このとらが、毎晩飛び出して暴れ回るとおっしゃいました。ひとりで飛び出すくらいですから、家来の方々に追いつけないわけがないでしょう。」

「ううむ。」

とのさまは、うなづいて何も言えなくなってしまいました。

一休さんは、続けて、

「それとも、晩にならないと、出て来ないのでしょうか。でしたら、今夜、もう一度やり直しましょうか。」

\*それを聞いて、とのさまは、

「もうよい。わしの負けじや。」

と言いましたとさ。

※1 「とんち」……………その場ですぐに出るちえのこと。

※2 「びょうぶ」……………部屋の中に立てて、かざりや仕切りなどにするもの。

— 山田さんのグループの三人は、だれが、どの場面を読むのかについて話し合っています。次の【話し合いの様子①】をよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【話し合いの様子①】

山田



【びょうぶのとらのお話】の内容と【四枚の絵】とを関係付けながら考えよう。

（絵1）についての話し合い…省略）

小川



【びょうぶのとらのお話】の中の                      の部分を、（絵2）と（絵3）に分けてかいたよね。（絵3）の始まりをどこにしたのか確認かくにんしてみよう。

高木



（絵2）は「一休さんとのさま、家来とがやりとりをしている場面」、（絵3）は「とらを追い出そうと動き始めた場面」にしたよね。

（話し合いが続く）

（問い）（絵3）の場面は、【びょうぶのとらのお話】の                      の中の1から5までのどこ

から始まりますか。最も適切なもの一つを選んで、その番号を書きましょう。



二 山田さんたちは、【びょうぶのとらのお話】のおもしろさについて、一年生にどのように伝えたらいいか話し合っています。次の【話し合いの様子②】をよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【話し合いの様子②】

山田 一休さんが家来たちに、「とらを追い出してください。出て来ないと思われませんかからね。」と言ったところがおもしろいよね。

小川 私わたしもそう思うわ。どのさまが言った無理なことに対して、一休さんがちえを働かせているところよね。どのさまはおこって言い返したけれど、一休さんに「それはおかしい。」と言われて、「ううむ。」とうなってしまうね。

高木 最後さいごに、どのさまは、「もうよい。わしの負けじゃ。」と言ったけれど、どんな気持ちだったのかな。どんなふうふうに読むといいかな。いろいろな読み方を考えてみよう。

（話し合いが続く）

（問い） 「もうよい。わしの負けじゃ。」を、あなたならどのように声に出して読みますか。次の条件じょうけんに合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 声を出して読むときにくふうすることを書くこと。くふうすることとしては、例えば、声の大きさや高さ、読む速さなどがある。
- なぜそのように読むのかという理由を書くこと。理由には、あなたが想像したとのさまの気持ちを取り上げること。
- 四十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。





二 山田さんたちは、「びょうぶのとらのお話」のおもしろさについて、一年生にどのように伝えたらいいか話し合っています。次の【話し合いの様子②】をよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【話し合いの様子②】

山田 一休さんが家来たちに、「とらを追い出してください。出て来ないといはれませんからね。」と言ったところがおもしろいよね。

小川 私わたしもそう思うわ。とのさまが言った無理なことに対して、一休さんがちえを働かせているところよね。とのさまはおこって言い返したけれど、一休さんに「それはおかしい。」と言われて、「ううむ。」とうなってしまっうね。

高木 最後に、とのさまは、「もうよい。わしの負けじゃ。」と言ったけれど、どんな気持ちだったのかな。どんなふうに読むといいかな。いろいろな読み方を考えてみよう。

（話し合いが続く）

（問い） \* 「もうよい。わしの負けじゃ。」を、あなたならどのように声に出して読みますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 声を出して読むときにくふうすることを書くこと。くふうすることとしては、例えば、声の大きさや高さ、読む速さなどがある。
- なぜそのように読むのかという理由を書くこと。理由には、あなたが想像したとのさまの気持ちを取り上げること。
- 四十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。

くふうするから、  
だから、なので

理由を表す言葉を使おう

とのさまは  
どんな気持ち  
持ちだった  
のでしょう。  
それは  
どの言葉  
から想像  
しましたか？



〔参考〕過去の調査における正答率

問題番号	調査の名称 (実施学年)	正答率 (%)	
		(左：全国)	右：長野県)
一	平成 27 年度 全国学力・学習状況調査(6年)	60.4	62.0
二	〃	66.6	68.9

〔参考〕出題の趣旨

登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりをとらえることができるかどうかをみる。

〔参考〕解答類型と反応率

問題番号	解 答 類 型		反応率 (%) (全国)	自校の 反応率	正答
一	1	1 と解答しているもの	7.7		
	2	2 と解答しているもの	9.1		
	3	3 と解答しているもの	60.4		◎
	4	4 と解答しているもの	10.7		
	5	5 と解答しているもの	2.1		
	9	上記以外の解答	0.3		
	0	無回答	9.7		
	二	(正当の条件) 次の条件を満たして解答している。 ①声に出して読むときに工夫することを書いている。 ②とのさまの気持ちについて想像したことを理由として取り上げている。 ③ 40 字以上, 80 字以内で書いている。 (正答例) ・わたしは、小さい声で読みます。とのさまは一休さんをこまらせようと考えていたのに、逆に一休さんにやりこめられてしまい、落ち込んで元気をなくしたと思うからです。(78 字) ・大きな声で、あらい感じで読みます。その理由は、とのさまは一休さんの言った言葉に対して腹が立ったと思うからです。(55 字) ・とのさまは、思ったとおりにいかなくて残念な気持ちだったと思います。だから、声をだんだん低くして読みます。(52 字) ・とのさまは、無理なことをとんちで解決した一休さんをほめてあげたかったと思います。だから、少し高い声で調子よく読みます。(59 字) ・わたしは、間を取りながらゆっくりとした速さで読みます。なぜなら、とのさまが一休さんのとんちのすごさに感心した気持ちを表すことができるからです。(71 字)			
1		条件①, ②, ③を満たしているもの	66.6		◎

2	条件①, ②は満たしているが, 条件③は満たしていないもの	1.4	○
3	条件①は満たしているが, 条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○わたしは, 声に出して読むときには, 小さく低い声でゆっくりと読みます。(34字) →上記の例は, とのさまの気持ちについて想像したことを理由として取り上げていない。	8.6	○
4	条件②は満たしているが, 条件①は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ○とのさまは, とんちで有名な一休さんをこまらせることができなくて, くやしがっていると思います。(46字) →上記の例は, 声に出して読むときに工夫することを書いていない。	2.8	
9	上記以外の解答	5.4	
0	無回答	15.1	